



TIMES

クサマ工業通信



ご挨拶

コロナの感染者がまた増えつつあり心配な状況ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。弊社においても売上が大きく減少し4月以降は雇用調整を行うなどして対応しております。そのため家で過ごす時間が多くなり、プライベートで2つの取り組みを始めました。まず1つは、自分の部屋をつかったことです。使われていなかった屋根裏の部屋を片付け、念願の書斎？をつくりました。狭いですが、集中して考えたり、作業したりできるのでとても快適です。2つ目は料理を始めたことです。今まで一切やってこなかったのですが、GWに作ってみたら意外とうまく出来、そこからやっています。今はスマホで調べれば作り方が丁寧に載っているので、その手順通り作れば何とかなることがわかりました。最近では揚げ物にも手を出し始めました。週末毎に2回ほど作るだけなので料理自体は楽しくもあるのですが、それでもメニューを考えたり、買い物に行ったりと忙しく感じ、毎日これをやってくれている妻への感謝の気持ちが一段と湧いてきました。コロナで大変な状況ですが、そのことに気づけただけでも良かったのかなと思っています。(草間)



念願のマイルーム

コロナ禍における会社での取り組み

会社でも with コロナ、after コロナに向けて取り組みを行っています。各部署での取り組みの一例をご紹介します。

事務

弊社では製造を行った製品の図面を保管することがあります。木型図面には方案を、加工図面には加工時の注意点などを記入しており、リピートで注文が来た時に参考にするためです。これまではその図面を紙でA3用のファイルに保管しており、図面数は1万枚近くになっていました。今回この図面を全てデータ化しPCで管理する取り組みを行っています。うまくいけばリモートワークなどにもつなげられると考えています。

鑄造

2018年11月に稼働を開始した鑄造部門では「白銑」という特殊な鑄物のみを鑄造していました。今回、自社での鑄造の可能性を広げるために「FC(ねずみ鑄鉄)」のテスト鑄造を行いました。今度は「SC450(鑄鋼)」もテスト鑄造する計画です。

加工

これまで旋盤担当は旋盤を、マシニングセンタ担当はマシニングを、と使用する機械が決まっていたのですが、マシニング⇔旋盤といった形で一部の製造部社員の担当機械を変更しました。管理者になった時に広い視野で仕事ができるようになるのと、仕事量のバランスにより多能工として臨機応変に対応出来るようになります。